

2023年10月10日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
東京センチュリー株式会社

GX ソリューションとしてカーボンクレジット付リースの提供を開始 IT 機器の使用に伴い排出される温室効果ガスのオフセットを実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、GX ソリューションのメニューとして、東京センチュリー株式会社(代表取締役社長:馬場高一、本社:東京都千代田区)のカーボンクレジット付リース(以下、「当リース」)を本日から提供します。当リースを活用することにより、温室効果ガス(Greenhouse Gas、GHG)の排出量をオフセットした形で IT 機器の新規導入が可能になります。

カーボンニュートラルの実現に向け、自助努力で削減困難な GHG の排出を「カーボンクレジット」(排出権)の取引を通じてオフセットする取り組みに注目が集まっています。一方で、カーボンクレジットは多種多様にあり、GHG 排出量の算出を含めて購入と活用には専門的な知識が必要とされています。

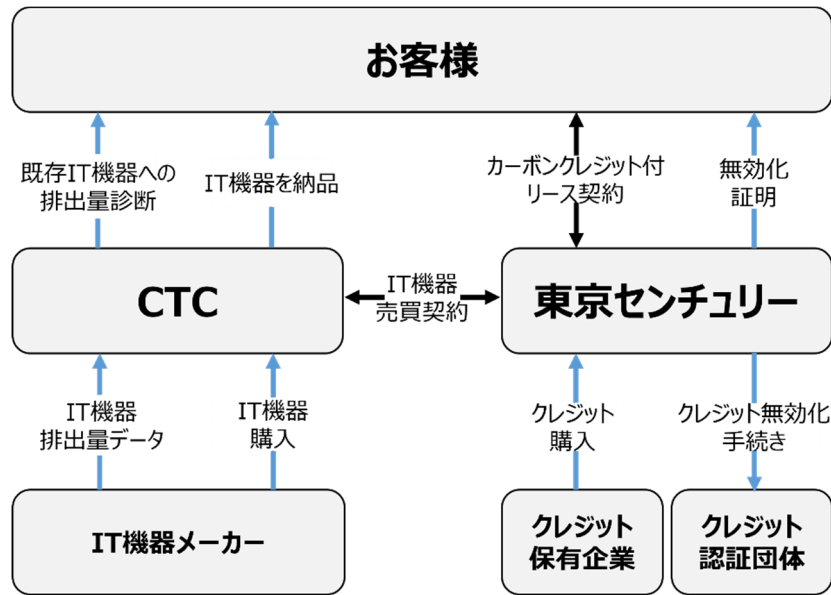
当リースは、サーバー、ストレージ、スイッチなどの IT 機器をリース契約する際に、カーボンクレジットを購入し、IT 機器の使用に伴い発生する GHG 排出量をオフセットするサービスです。新たに導入する IT 機器に加え、お客様が既に購入済みの IT 機器に対しても適用*1でき、日本政府が認証する「J-クレジット」をはじめとした信頼性の高いカーボンクレジットの選定や購入、使用後の事務手続きを東京センチュリーが代行します。CTC は IT 機器の使用電力の測定や GHG 排出量を算出し、より省エネ性能の高い製品への入れ替えの提案や排出削減量の事前検証を実施します。

東京センチュリーは、マテリアリティ(重要課題)の一つとして「脱炭素社会への貢献」を掲げており、脱炭素機器の導入支援として補助金を活用したリースの提供や太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー事業を積極的に展開してきました。2023 年より当リースの提供を開始するなど、付加価値の高い金融・サービスを提供しています。

CTC は、創立以来、大規模システムの構築から保守運用サービスまでお客様の IT インフラをトータルにサポートしてきました。また、1990 年頃から始めた気象データの解析・シミュレーションにおける技術をもとに、長年、再生可能エネルギー発電事業者へのコンサルティングサービスやシステム開発を行っています。今回のサービスは、企業の GHG 排出量の削減やエネルギー利用の効率化などの技術支援を行う GX ソリューションの一環です。

CTC と東京センチュリーは今後、両社の脱炭素関連サービスの相互連携を拡大し、お客様のカーボンニュートラルならびに GX の実現に向けた各種対応を支援していきます。

■カーボンクレジット付リースのイメージ



<CTC の GX ソリューションマップ>

詳細情報は下記をご覧ください。

https://www.ctc-g.co.jp/company/release/doc/20231010a_ctc-gx-solutionmap.pdf

- ※1 適用には条件がございます。
- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

東京センチュリー株式会社

広報 IR 部

電話:03-5209-6710

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

電話:03-6258-8123